

お知らせ（競技について）

本大会の要項の一部を次の通り変更する。

【変更内容】

形競技の敗者復活戦の決勝は全国大会出場に係ることから、得点方式により1名ずつの演武とし、小学生は第1指定形・第2指定形を、中学生は得意形を使用しても良い。

本大会は、以下の申し合わせ事項を運用する。

《 形競技について 》

1. 個人形進行要領Ⅰ【準々決勝戦まで・敗者復活戦】

- (1) 選手はコートの角（コーナー）に待機し、モニターに自分の名前と形名が表示されたらコートへ斜めに入場する（名前は呼ばれない、選手同士の礼は不要）。
- (2) 赤・青の順に形名を呼称し、主審の笛の後、各自のタイミングで演武を始める。
- (3) 演武終了後、後ろに下がり判定を受け、速やかに退場する（選手同士の礼は不要）。

2. 個人形進行要領Ⅱ【準決勝戦・決勝戦】

- (1) 通常入場とし、一人ずつ演武する（コート出入りの礼はしない）。
- (2) 両者終了後、エンドラインで待機、判定後に退場する。

3. 団体形進行要領【予選・決勝戦】

- (1) 男子は青、女子は赤帯を着用する。
- (2) 通常入場とし、終了後、下がってエンドラインで待機、得点表示後に退場する。

4. 同点の解消方法について

- (1) 有効点のうち最低点の高い者
- (2) 有効点のうち最高点の高い者
- (3) 再演武（その試合で使用した形でもよい、小学生は得意形を使用することは不可）

《 組手競技について 》

1. 小学生大会の運用ルール

- (1) 全ての得点部位（上段及び中段）への技は、部位までの距離が近くコントロールされたものでなければならない。
- (2) 上段へのコンタクトは、軽微であっても原則的にウォーニング（ペナルティ）が科せられる。
- (3) 10cmまでの得点部位への正確な技は、原則的に得点とみなされる。
- (4) 足払い、又はその他の投げ技は禁止とする。